置き配荷物検知器 第1、2版の補足説明書 250327

2025.03.31に「LINE Notify」のIFTTT連携サービスが終了することによ り通知方法が「LINE」->「電子メール」に変更されました。

2025.04以降、本文説明書側の「LINE」に関する表記はすべて無効とな りますのでご了承ください。

IFTTTのアプレット側の作成方法が大幅に変更となりました。 本文説明書「P6~P7」はこちらの補足説明書の内容で置き換えてい ただきますようお願いいたします。

●「IFTTT(イフト)」設定の方法

IFTTT(イフト)という、異なるWebサービス同士を連携するWebサ ービスに接続するための設定を行います。 設定を行う前に下記項目の準備が必要です。

DIFTTTへの登録

※"Pro" (有償) での登録が必要です ※登録にはメールアドレス/クレジットカードが必要です

ロIFTTLでアプレット(レシピ)の作成

IFTTTのアプレット(レシピ)作成についての詳細 は下記の「IFTTTアプレット制作方法」のPDFファ イルをダウンロードして参照の上、作成を行って ください。

ダウンロード先 https://www.kyohritsu.jp/eclib/WONDERKIT/ MANUAL/kita40-ifttt-2r0.pdf

以降の設定ではIFTTTの登録やIFTTTの [If (Webhooks)->Then (Email)]で連携されたアプレットが作成されてい る想定で記載されています。

▼イベント名の確認方法の説明

アプレットが作成されていると 図のようにログインしたトップ ページ「My Applets」に表示さ れます。イベント名は赤枠内の 名称になります。

例では "TEST01" です

この場合は「IFTTT Event」に TEST01 と入力します。

対象が「Connected」 になっていることも確認

▼キーの確認方法の説明 製作したアプレットをクリックす るとそのアプレットのセッティン グ画面に移行し、下にスクロール できるようになります。

「Your webhook URL」という箇所 があるので、 「~KEY/」より下の部分を 本体基板のIFTTT設定の 「IFTTT KEY」にセットしてくだ さい。

Your webhook URL

https://maker.ifttt.com/trigger/TEST01/with/key/19 190z 190z

のみ抜き取る

「IFTT」は弊社のサービスではありません。 サービス内容についてお問い合わせをいただいても弊社で は、ご回答できません。

当説明書記載の内容は2025年3月現在のものです。 閲覧時に、IFTTのWEBページの表記内容、利用料金体系が変 更されている場合がありますのでご注意ください。

電子メールで通知を送るには本機に「IFTTT」上で作成されたア プレットの「イベント」名と「キー」コードを設定する必要があ ります。IFTTTにログインして、製作したアプレットの「イベン ト」名と「キー」コードを、「KITA-40 ホーム画面」->「IFTTT 設定」から設定してください。

IFTTTOURL [https://ifttt.com/ |



●Emailの本文とValue1の設定についての説明

Emailの送信時に"Value1"に設定した値を本文に反映させるこ とができます。複数の本機を使用し個体識別する場合や特定の メッセージを追加したい場合などにご使用ください。 "Value1"は下記のIFTTTの「Email」設定内で反映されます。



例として

本機のIFTTT設定の ″IFTTT Value1″に "TES"と設定します。



※Webhooksから転送される"Value1"の値は半角英数文字のみ有効 です。(全角文字を入れるとエラーになります)また空白を入力し た場合は以降の文字が削除されますのでご注意ください。

例のように設定した場合、メール本文内には以下のように反映さ

| | 置き配検知 🤲 🖉 🖉 🖉 |
|---|---|
| 1 | Webhooks via IFTTT caction部iffm.coms メーリングリストの登録解除 To 自分 マ |
| | |
| | What: IES101 |
| | When: March 24, 2025 at 05:20PM |
| | Extra Data: TES, |
| | |
| | & Manage |
| | C-9 manage |

編集後は最下部の「Update action」をタップすると設定が保存 されます。画面が切り替わった後、「Update」をタップしてアプ レット自体を保存、設定の反映を行ってください。



●設置場所での使用方法

設置場所で運用する場合はモード切替スイッ チ[SW1]を「0」の位置にセットし電源を入れ ます。(BAT[LD5]が一瞬点灯します)



[運用時は「0」に]

省電力のため通常は待機状態になります。約5分ごとに起動し超 音波センサーで測定しますので運用(待機中)時はLEDは点灯しま せん。約5分ごとの起動時には、BAT[LD4]赤が点滅します。

 ある程度の大きさの物体(25×25mm以上)を設定した距離内に なるように超音波センサーの前に置きます。

約5分ごとにBAT[LD5]が点滅し計測。(1回目検知) 物体が検知された場合は待機時間は4秒になり、 SENS[LD1]が点滅して待機モードに入ります。

 4秒後にBAT[LD5]が点滅し計測。(2回目検知) 物体検知が続いているので待機時間は4秒になり、 SENS[LD1]が点滅して待機モードに入ります。

・4秒後にBAT[LD5]が点滅し計測。(3回目検知) SENS[LD1]が点滅します。 その後、「A.P」「STA」「ER」ランプが全点灯しWi-Fi接続が 始まります。(3回連続検知で通知)

Wi-Fi接続が成功すれば「STA[LD3]」が点灯し通知を行いま す。失敗すれば「ER[LD2]」が点灯したり「STA[LD3]」が消灯 したりする場合があります。正常に通知しても失敗しても約30 秒で元の待機状態に戻ります。この後、物体検知が続いていて も待機時間は、5分ごとに戻ります。

-2-